

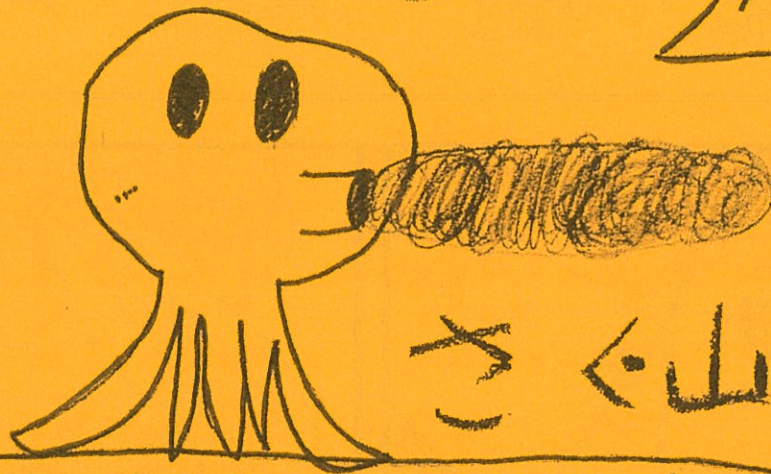
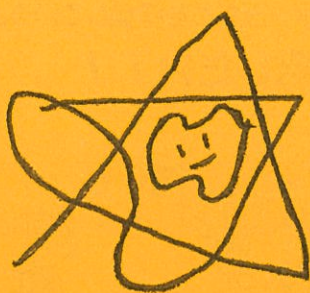
お〜いみんなあそぼよ!!!

さくづん 公園
さくづん 公園
さく山下あいか! (笑)

きまり
自分のせきにで 息ゆうにあそ
じぶん

7月26日 27日 (土・日)
8月17日 (日)
10:30~15:00

ぶ もてくるもの
おちゃ おにぎり きず"え" (笑)



さく山下あいか

遊び場を考える会 > ラインID 3249pdh2

郷原 080-2900-5137 坂本 090-7377-886 /

雨のときは問、あわせてね



～「遊び場を考える」ってどういうこと？～



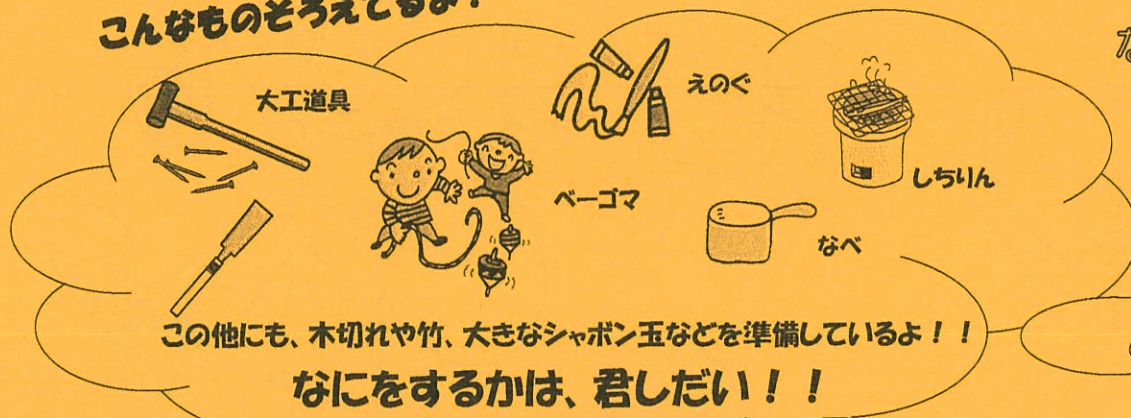
「仲間」「時間」「空間」という子ども達にとって遊ぶための3つの「間」がなくなってしまったと言われます。スケジュールに追われ、細切れの時間でしか遊べなくなったことから、子ども達の生活はマイペースなものとなってしまい、その結果、お互いにうまく寄り集まることができず、地域での子どもの遊び仲間はしだいに解体してしまい、仲間遊びが減ってしまいました。

いまの子は遊べなくなった・・・でもそれは、子どもの問題というよりは、大人の問題なのではないでしょうか。今の子ども達の環境を作ってきたのは大人だということ、また、大人たち自身も近所づき合いをはじめ、人間関係を結ぶのが下手になってきているような気がします。大人が人と出会う暮らしなしに、いくら子どもの社会性を育てようと思っても、うまくいかないのではないのでしょうか。

地域にはいろいろな力を持った人がたくさんいます。大工仕事が得意なおじさん、お手玉の達人のおばあちゃん etc. そんな一人ひとりが何かのキッカケで出会えたらきっとステキなことが起こると思うのです！遊びを通して大人が出会い、子どもたちと出会う、そんな「遊び場」があったらいいな☆という想いではじめの一歩をふみ出しました。

・・・と、そんなことを少し頭の片すみにおきながら、**とにかく！！ あそぶのは楽しい！！**
大人も子どもも、い—————っぱいあそぼう！！

こんなものそろえてるよ！



なにしよう？！
ドキドキ！
ワクワク☆
ウキウキ！



この他にも、木切れや竹、大きなシャボン玉などを準備しているよ！！

なにをするかは、君しだい！！



火も



水も



木も



土も

ぜ～んぶ
つかって
あそぶぞ～！

「自分の責任で自由に遊ぶ」
の看板を目印に来てね！

